

平成22年度 事業報告

総括報告

さいたま観光コンベンションビューローは、さいたま市及びその周辺地域における観光コンベンション事業の発展と普及をはかり、市民文化の向上と地域経済社会の発展に寄与すること等を目的とする団体として、今年度も会員をはじめ行政機関や関係団体との密接な連携の基に、積極的な事業の推進をしてきたところである。

平成22年3月にオープンした、さいたま市大宮盆栽美術館も初年度約6万8千人の来館者という順調な滑り出しを見せ、さいたま市への誘客をはかれる施設として注目を集めていたが、開館一周年を目前に東日本大震災が発生、停電、原子力事故などによる不安が増す中、年度末の集客に打撃を受けた。

22年度は、既存のホームページによる情報発信に加え、ツイッターなどソーシャルネットワークを活用した観光情報の発信を本格化するなど、訪問意欲を高められるよう取り組みを行った。

さらに新規事業として、雑誌、ブログメディアなどを招聘したプレスツアーを実施、市内に泊まっていただき、観光施設を案内することで、さいたま市をPRする大きな成果を得る事ができた。

観光イベント事業については、それぞれの特色を生かした各種イベントを開催。全て成功裡に開催することができ、ビューローが関連したイベントでは、入れ込み合計が257万人に達した。

コンベンション事業においては、誘致営業活動を強化するとともに、誘致実績も着実に推移しており、さらに県・市・関係団体と一体となった誘致体制の充実をはかっている。国際会議観光都市として、今後さらに各種会議の誘致に向け積極的な営業活動を推進している状況である。

例年実施しているコンベンション経済波及効果調査でも、21年度の経済波及効果額は約111億円となり、コンベンション事業の推進が益々重要性を帯びてきている。

観光案内所の運営においては、JR東日本と共同で運営する大宮駅観光案内所を始め、さいたま新都心駅、浦和駅前の3カ所の案内所において観光案内・情報提供をはじめ様々なサービスを提供し、年間利用件数は約33万件であった。

また、全国のゆるキャラ人気も高まっており、PRキャラクター「つなが竜ヌウ」グッズなどの取扱も開始、好評を博した。

組織面では、さいたま市国際交流協会との統合を検討する委員会を設置、統合に向けた検討を行ったが、両団体の合意が得られず、継続して検討協議することとなった。

事業別報告

i 観光事業

(1) 観光振興事業

地域観光行事への助成、支援

- ・各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業（大盆栽まつり・さいたま太鼓エキスパート・大歳の市（十二日まち）・大正時代まつり・与野七福神めぐり・大宮日進七夕まつり・うなぎまつり・コラボさいたま、咲いたまつり、岩槻まつり他）
- ・友好都市との交流事業への協力

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

- ・埼玉県物産観光展への出展
埼玉 B 級ご当地グルメ王決定戦と同時開催された「埼玉県物産観光展」に5月3日（月）から4日（火）の2日間（会場：大宮ソニックシティ）と、11月21日（日）の1日間（会場：加須はなさき水上公園）にそれぞれ出展した。
- ・第3回都市・自治体連合アジア太平洋支部コンGRES 2010 浜松への出展
アクトシティ浜松で開催された「第3回都市・自治体連合アジア太平洋支部コンGRES 2010 浜松」に10月19日（火）から21日（木）の3日間にわたり出展し、さいたま市のPR、誘客に努めた。
- ・埼玉県観光交流会「埼玉トラベルマート2011」への参加
都道府県会館で開催された、「埼玉県観光交流会」に2月17日（木）に参加し、旅行会社、旅行情報・出版社へ旅行商品化のための商談や情報提供を行い、さいたま市への誘客に努めた。

観光ボランティア団体との連携

- ・さいたま市の魅力を案内する「岩槻観光ボランティアガイド会」「観光ボランティア浦和ガイド会」の利用促進と希望者からの受入窓口を行った。また、「大宮観光ボランティアガイド会」設立に向け、ボランティアガイドの育成のための講話を行う等、発足への協力を行った。

花の名所の維持管理

(2) 観光物産振興事業

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充

23・24年度の推奨土産品の選定（58品目）を行った。

(3) 観光イベント事業

行事名	期 日	場 所	入込／参加人数
岩槻城址公園桜まつり	4／3・4	岩槻城址公園	入込40,000人
さくら草まつり	4／17・18	市役所・桜草公園	入込市役所4,000人 入込桜草公園60,000人
ばらまつり	5／15・16	与野公園	入込160,000人
大宮薪能	5／21・22	武蔵一宮氷川神社境内	鑑能者 2,160 人

氷川神社の茅の輪くぐりと植木草花市	6 / 30	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込10,000人
人形のまち岩槻「朝顔市」	7 / 4	岩槻愛宕神社	入込600人
与野夏祭り	7 / 17・18	与野本町通り周辺	入込200,000人
大宮夏まつり「中山道みやはらまつり」	7 / 18	宮原駅東口周辺	入込41,000人
浦和まつり（音楽パレード・浦和おどり・ウラワミュージックフェスタ・みこしパレード・南浦和会場）	音楽・おどり・ミュージックフェスタ 7 / 18 みこし 7 / 25 南浦和 7 / 25	浦和駅周辺 浦和駅周辺 南浦和駅東口西口	音楽入込50,000人 おどり入込（ミュージックフェスタ含む）100,000人 みこし入込110,000人 南浦和入込55,000人
さいたま市花火大会 大和田公園会場	7 / 30	大和田公園周辺	入込100,000人
大宮夏まつり「西口夏まつり」	7 / 31	大宮駅西口周辺	入込20,000人
大宮夏まつり「スパークカーニバル」	8 / 1	大宮駅西口周辺	入込260,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	8 / 1・2	大宮駅東口周辺	入込260,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕まつり」	8 / 6・7	日進駅前通り周辺	入込149,000人
大宮夏まつり「東大宮サマーフェスティバル」	8 / 6・7	東大宮中央公園	入込30,000人
さいたま市花火大会 東浦和 大間木会場	8 / 14	東浦和 大間木公園周辺	入込70,000人
さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場	8 / 21	岩槻文化公園	入込70,000人
人形のまち 岩槻まつり	8 / 22	岩槻区役所・岩槻駅東口周辺	入込130,000人
大宮夏まつり「指扇まつり」	8 / 28	滝沼川遊水地	入込12,000人
咲いたまつり	10 / 9・10	さいたま新都心周辺	入込320,000人
クリーンさいたま釣りの祭典	10 / 17	びん沼川周辺	参加186件
十日市	12 / 10	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込190,000人
十二日まち	12 / 12	調神社とその周辺	入込130,000人
合 計			入込計 2,573,946人

(4) 観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

さいたま市観光振興ビジョン及びしあわせ倍増プラン2009実現に向けた協力

(5) 事務局受託事業

ばらまつり、大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）、さいたま市花火大会

ii コンベンション事業

(1) 誘致・支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動

「国際会議観光都市」として、J N T Oなどから国際会議情報が多くもたらされるようになった。また、引き続き各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行い、キーマンとのパイプも着実に増強されてきている。

来客者に対する主要駅への歓迎看板の掲出

J R大宮駅の歓迎看板を活用し、また、浦和駅では歓迎幟旗を掲出、本市来訪への歓迎の意を表し、コンベンション参加者への案内に役立たせることができたとともに、市民へホスピタリティ啓発のアピールを行った。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

観光マップを58件約48,550部（昨年55件53,700部）、コンベンションビニールバッグを30件8,610部（昨年42件約40,600部）、紙製バッグを2件約320部（昨年5件約2,200部）提供し、本市開催のメリットをアピールした。

コンベンション開催助成金

さいたま市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、コンベンション開催助成金制度を立ち上げ、13件約500万円を助成した。

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行ったが、貸付を希望するコンベンションはなかった。

インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実等を図るとともに案内をわかりやすくし、コンベンション主催者の利便性を高めた。

コンベンション開催時における推奨土産品販売所の出店

当ビューロー直接の臨時観光案内所設置は行なわなかったが、コンベンション会場への土産品販売所の設置や土産品のPRを行った。

産業観光、アトラクション情報等の提供及びシステムの拡充

アフターコンベンションのニーズに応えられるよう、特に産業観光施設の拡充を

図ることができた。

推奨コンベンション弁当の周知

セールspanフレット・HPや施設見学会等で主催者に周知を図っている。

会場・観光地等の写真貸出システムの拡充

コンベンション主催者が宣伝周知用に作成するポスター等への活用を促進した。

スポーツコミッション設立へ向けた検討への協力

さいたま市観光政策部観光政策課と協力して、スポーツコミッション設立に向けた策定委員会に参画し、23年度の事務局設置に協力した。

その他コンサルティング

(2) I ME 出展事業

国際ミーティングエキスポ「I ME 2 0 1 0」への出展

12月7日(火)～8日(水)、国際フォーラムにおいて、国土交通省、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、及び日本政府観光局(JNTO)主催の「第20回国際ミーティングエキスポ(I ME 2 0 1 0)」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者28名に対し、本市への開催誘致を図った。(全来場者数3,021名---但し、出展関係者を除く)

(3) 施設見学会事業

コンベンション施設見学会(年1回)の開催

・コンベンション施設見学会の開催

3月14日(月)、I ME 2 0 1 0におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェンツ等を対象とした市内施設見学会(大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮、盆栽美術館、ラフレさいたま、ブリランテ武蔵野)を開催予定で、18団体27名の申込であったが、東日本大震災直後のため中止とした。その後、申込団体については通常セールス活動でフォローすることとした。

・コンベンション施設内覧会への協力

9月28日(火)、財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシティ施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

(4) 情報収集事業

コンベンションデータ(顧客名簿・開催意向等)の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行なえるよう管理、更新を図っている。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

JCCB、全国コンベンション運営事業者協議会(CPA)、日本PCO協会の総会等及びJCCB主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、JNTO等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対して随時協力した。

(5) 経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

21年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、22年度に開催された個別のコンベンション（6件）における経済波及効果を調査した。

iii 広報宣伝事業

(1) 広報宣伝活動

観光情報誌「S a i ' s（さいず）の発行（年4回）

来訪者等へ向けた観光情報の広報宣伝を行った。（夏号＝6月、秋号＝9月、冬号＝12月、春号＝3月：各15,000部発行）

各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施

<観光ガイドブック「さいたま市 walker」の発行>（100,000部）

<観光マップ「ポケナビさいたま」の発行>（100,000部）

新聞・タウン誌、その他メディアへの広報・宣伝の実施

媒体種別	掲載件数（ ）内は前年	プレスリリース回数
新聞	21（43）	19回 （21回）
タウン誌（紙）	82（111）	
専門誌	9（4）	
雑誌	52（49）	
行政関連出版物	19（28）	
会報等	9（17）	
テレビ	5（4）	
ラジオ	3（4）	
WEB	39（54）	
その他	18（19）	
合計	257（333）	

プレスツアーの実施

新聞、雑誌、ブロガーなどのメディア関係者を招聘し、1泊2日で市内滞在、さいたま市の観光をプレゼンテーションするとともに、観光施設を案内した。（視察先：桜草公園、鉄道博物館、武蔵一宮氷川神社、大宮盆栽村、大宮盆栽美術館、東玉。宿泊：浦和ロイヤルパインズホテル）

市内宿泊施設での宿泊客向け観光情報の提供

月刊タウン紙「ドコイコ」の表紙に観光情報を提供。

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどのPR

浦和のうなぎやスタミナラーメンなどのご当地グルメ情報をホームページなどで積極的にPR、また、さいたま市PRキャラクター「つなが竜ヌウ」や「浦和うなこちゃん」もパンフレットなどに使用するなどPRを行った。

(2) インターネットによるシティセールス

インターネットによる国内外への誘致PR

- ・ホームページ「web S@i's (うえぶさいず)」の運営(日本語・英語・韓国語・繁体字・簡体字)

- ・「ブログ」「もぎたてさいたま情報」の運営

ツイッター「@SaitamaCVB」の運営開始(3月31日現在フォロワー数4,280)アクセス数(訪問者数)、ページ閲覧数は以下のとおりであった。

月	訪問者数(件)	ページ閲覧数(ページ)
平成22年4月	76,084	296,736
5月	95,318	381,142
6月	70,060	259,013
7月	157,761	614,530
8月	121,717	438,976
9月	56,829	191,315
10月	65,847	211,088
11月	74,130	217,503
12月	79,534	223,798
平成23年1月	83,310	214,474
2月	68,446	213,439
3月	82,955	227,784
合計	1,031,991	3,489,798
(昨年度)	(860,729)	(4,923,339)
前年比	119.90%	70.88%
1ヶ月平均	85,999	290,817
1日平均	2,827	9,561

- ・日産自動車用カーナビシステム「カーウイングス」への観光情報の提供

iv 観光案内所運営事業

(1) 観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所(JR大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所(JRさいたま新都心駅東西自由通路内)、浦和観光案内所(JR浦和駅西口前)の運営

- ・観光案内業務

- ・各種パンフレット配布業務

- ・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

v 物品販売事業

(1) 観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ等売上1,342,700円(前年1,153,115円)

(2) 公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

年間売上3,203,910円(前年3,184,464円)

(3) その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務販売手数料収入5,593,226円(前年6,548,843円)

vi その他

(1) 情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換

政令指定都市の観光協会、コンベンションビューロー等で組織する大都市観光協会連絡協議会へ参加。様々な施策や課題などについて情報交換を行った。

(2) 会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新春賀詞交歓会を平成23年1月19日(水)に浦和ロイヤルパインズホテルで開催。来賓10名、会員150名の参加があった。

功労者・優良従業員表彰制度の実施

観光コンベンション事業に功績のあった功労者6名、事業従事者2名、特別功労者2団体を平成22年6月1日(火)開催の通常総会にて表彰した。

会員ステッカーの配布

会員証(ステッカー)を新規加入会員に配布、店頭などに掲示を依頼した。

(3) 経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討

財団法人さいたま市国際交流協会との統合に向けた検討委員会の設置

検討委員会を設置し、4回会合を重ね、統合に向けた協議を行ったが、両団体では合意する意見をまとめることができなかった。

公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革に関連し、各種セミナーなどに参加。情報収集を行った。